令和４年度　日本大学スポーツ科学部　個人研究費　研究実績報告書

所属：スポーツ科学部　競技スポーツ学科
資格：教授
氏名：種ケ嶋　尚志

研究課題名	青年期の競争心と心理的競技能力に関する心理学的研究
研究目的及び研究概要	●研究の目的と概要 競争心の高まりは、心理面の競技力向上を図れるものであるかについての詳細な検討は行われていない。特に本邦においてスポーツ場面の精神力として定義されてる心理的競技能力（徳永ら，1988）の他の要因が競争心にどのように関与しているかについては明らかになっていないため、日本のスポーツ心理学界において、競争心と心理的競技能力について共通の視点を形成することはメンタルトレーニングを導入する際にも重要なことに繋がる。よって本研究は、競争心を形成する心理的競技能力を明らかにし精神の安定集中・自信・予測判断力等の心理的競技能力要因に応じた競争心のマインド形成要因を明らかにすることを目的とする。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	●研究実績の概要 競争への志向性および行動の意図を測定する多面的競争心尺度と、自己の枠組みに基づく完全主義を測定する自己志向的完全主義尺度を用いた調査により、青年期における競争心と完全主義の関連について検討した。 その結果、競争心の中でも「手段型競争心」は、高い目標に志向しそれにこだわる完全主義（高目標設定）の影響を強く受けており、適応的な競技生活につながる意識といえる可能性が示唆された。さらに、種ケ嶋（2022）は、スポーツ場面の精神力として定義される「心理的競技能力」と競争心の関連に注目し、「競技意欲」、「自信」、「作戦能力」、「協調性」と手段型競争心が正の相関を示すことを明らかにした。 今後の課題として、競技力や競技特性による相違について競争心のマインド形成への影響性を明らかになっていないため、継続的に課題追及を行っていく。